



MS344-48001・MS344-48002 サイドスカート

取付・取扱要領書

この度はハリアー用TRDサイドスカートをお買い上げ頂き誠に有難うございます。
本書は上記TRDサイドスカートの取付け、取扱いについての要領と注意を記載してあります。
取付け前に必ずお読み頂き、正しい取付け、取扱いを実施してください。
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

★本商品は未登録車への取付けは出来ません、取付けは車両登録後に行ってください。

■品番・適合一覧表

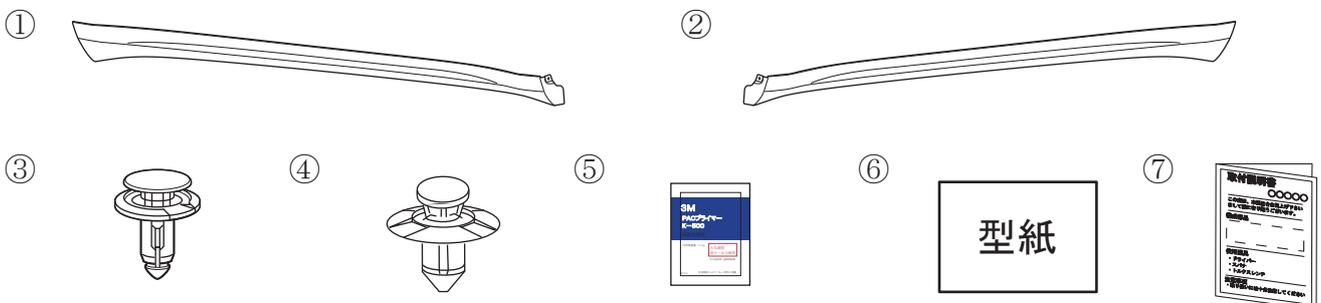
品番	塗装色	備考
MS344-48001-A0	ホワイトパールクリスタルシャイン (070)	ハリアー 全適応 '13.12～
MS344-48001-C0	ブラック (202)	
MS344-48002-00	未塗装品 (プライマー処理品)	

■構成部品一覧表

No.	品名	品番	個数	備考
①	サイドスカート RH		1	
②	サイドスカート LH		1	
③	プッシュプルリベット		2	φ10用
④	クリップ		6	φ8用
⑤	PACプライマー		1	K-500
⑥	型紙		1	
⑦	取付・取扱要領書		1	本書は大切に保管してください。

以下、MS344-48002-00 (未塗装品セット) のみに同梱

No.	品名	品番	個数	備考
⑧	モール		(各2)	黒/グレー L=1900mm



以下、MS344-48002-00 (未塗装品セット) のみに同梱



■取付・取扱上の注意

この取付・取扱要領書では安全にご使用いただく為に、特にお守り頂きたいことなどを、次のマークで表示しています。

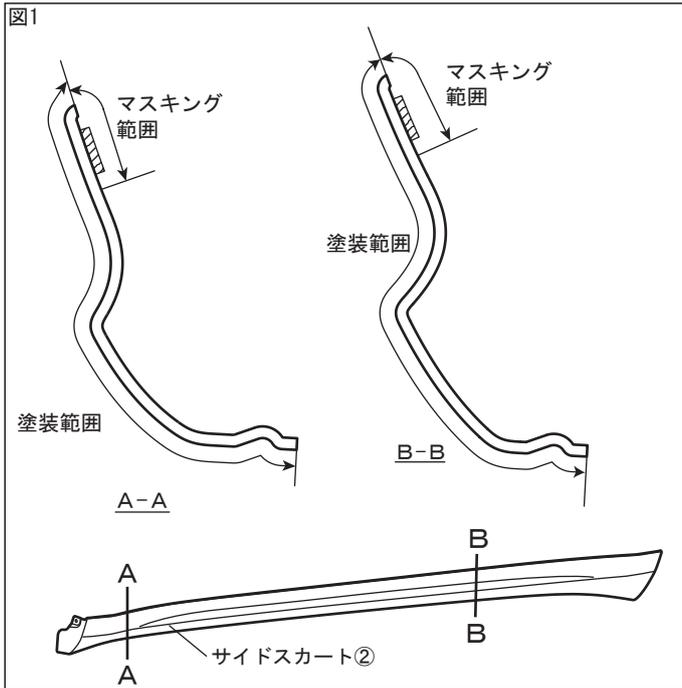
 警告	この内容に従わず、誤った取付け、取扱いを行うと、人が死亡したり、重傷等を負う可能性がある内容について書かれています。
 注意	この内容に従わず、誤った取付け、取扱いを行うと、人が障害を負ったり、製品等の物的損害に結びつく可能性がある内容について書かれています。
 アドバイス	スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

確認 本商品が到着後、すぐに本体に破損が無いこと、付属品が全て揃っていることを確認してください。

- △ **確認** 本商品は過去に事故歴のない車、事故歴があっても正常に修復された車には確実に装着出来ます。
- △ **警告** 取付作業は、必ず平坦な場所でエンジンを切り、サイドブレーキがかかっていることを確認後行ってください。不安定な場所で作業、車両が動く状態での作業は重大な事故原因となります。
- △ **警告** エンジンルームやマフラー等の付近で作業を行う場合、ヤケド等の重大な怪我に注意してください。
- △ **警告** 本商品への改造・加工、適合車種以外への装着は絶対に行わないでください。破損や事故の原因となります。
- △ **警告** 取付けの際は、指定トルクに従って各タッピングスクリューを十分に締め付けてください。取付け時に緩みがあると徐々に緩みが大きくなり、脱落等により重大な事故、故障の原因となります。
- △ **警告** 取付け初期は、タッピングスクリューが緩みやすいので、数キロ走行後には必ず増し締めを行ってください。
- △ **警告** 取付け後、本商品と他の部品とが干渉していないかを確認してください。干渉している場合は、本商品を購入した販売店にご相談ください。そのまま走行すると破損や故障の原因となります。
- △ **警告** 本商品装着後に、衝突等の強い衝撃を受けた場合、取付部分や本体に変形や破損、故障を生じる場合がありますので、直ちにご使用を中止し、整備工場にて点検を受けて下さい。
- △ **警告** 走行中に異常な振動や異音等を感じたら直ちに安全な場所に停車し、整備工場にて点検を受けてください。そのまま走行を続けると、車両の破損や事故の原因となります。
- △ **警告** 本商品は舗装路での走行を想定して設計されています。悪路や雪道での走行は、商品によっては破損の原因になりますのでお止めください。
- △ **警告** 本商品には十分な強度・耐久性を持たせてありますが、保管条件や取扱条件、走行条件によっては破損、故障が起こる可能性があります。保管、取付作業、ご使用に際しては十分にご注意ください。
- △ **注意** 本商品の交換・取付作業は必ず専門の整備工場で実施してください。
- △ **注意** 本商品の取付の際は本書を良くお読み頂き、注意・警告事項を守って作業を行ってください。
- △ **注意** 本商品は各構造基準に適合しているため、車検時も通常の検査と同様に受けられます。ただし適合車種以外に装着した場合、またはその他の部位を改造しているなどの使用状況によっては、その限りではありません。
- △ **注意** 未塗装品セット (MS344-48002-00) は未塗装の為、車両の外板色に合わせた塗装が必要になります。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定し、70℃以下で乾燥させてください。
- △ **注意** 未塗装品を塗装前に脱脂する場合、IPA又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフ及びシンナーは使用しないでください。
- △ **注意** 焼付け塗装の際に、乾燥温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので、乾燥温度には十分注意してください。
- △ **注意** 本書で指示した以外の車両部品を取り外さないでください。
- △ **注意** 車両部品の取外しに際し、タッピングスクリューの紛失や混乱が無いように、部品毎に整理し、復元する際、間違えないよう配慮してください。
- △ **注意** 車両部品の脱着および車両へのサイドスカート取付け時の傷付き防止のため、作業前に保護シートを準備し、取付け作業は必ず保護シートの上で行ってください。
また、取付け作業時には車両部品に傷を付けないように十分に注意してください。
- △ **注意** 両面テープの接着力最大限に発揮させる為貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めて下さい。
- △ **注意** お手入れの際には、シンナー、ガソリン等の有機溶剤は使用しないでください。変色・変形の原因となります。
- △ **注意** 取付作業や走行により、車両本体、または本商品が損傷した場合のクレームには応じかねます。
上記の事項と本書の装着要領を必ずお守りください。

■未塗装品の取扱いについて

下記は、未塗装品 (MS344-48002-00) の塗装前、塗装後の作業を記載しています。下記要領に従い作業を行ってください。



※本取付・取扱要領書は、主にLHを示しており、RHも同様に行ってください。

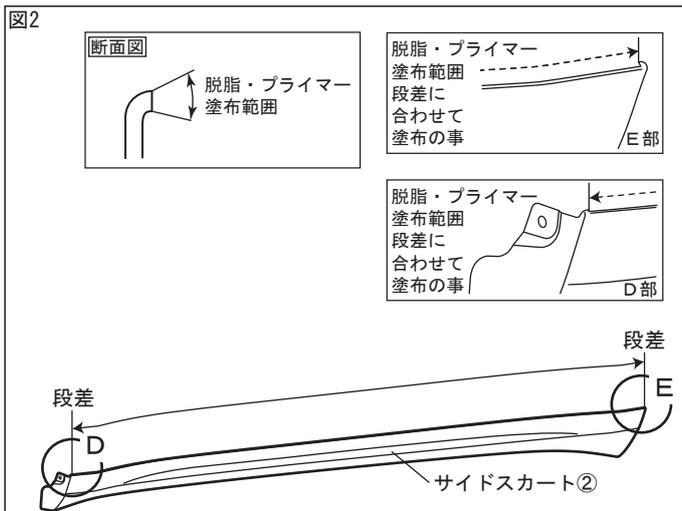
□サイドスカートの塗装

1. 図1のようにサイドスカート②を塗装する。

△注意：脱脂をする場合は、IPA又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフおよびシンナーは使用しないでください。
サーフェーサーが溶ける恐れがあります。

△注意：モール貼付面、両面テープには、絶対に塗装しないでください。
接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして、対応してください。

△注意：乾燥温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので、乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は、製品が変形しないように固定してください。



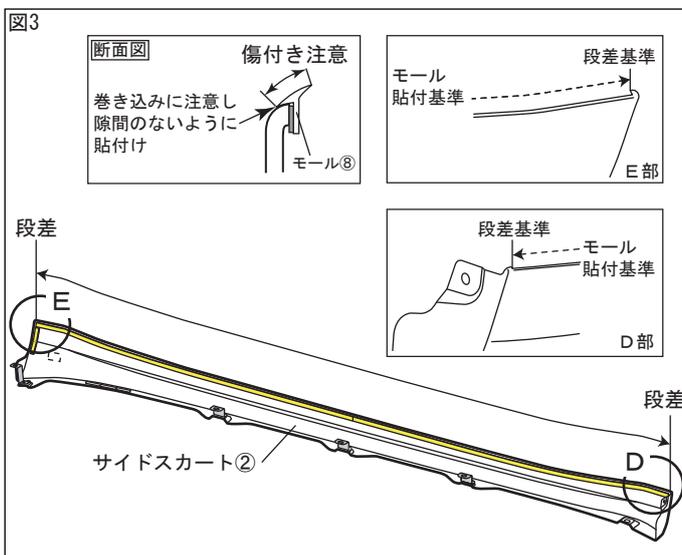
□モールの貼付け

1. 図2のようにモール貼付部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向にふいて脱脂し、PACプライマーK-500⑤を塗布する。

△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。又、プライマーのはみ出しは、シミの原因になりますので注意してください。

👉アドバイス：脱脂、プライマー塗布後は、10分以上乾燥させてください。

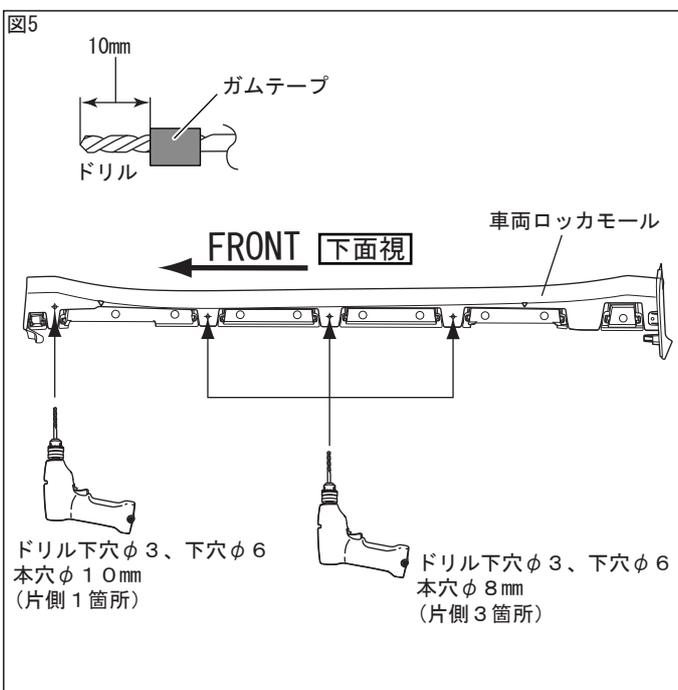
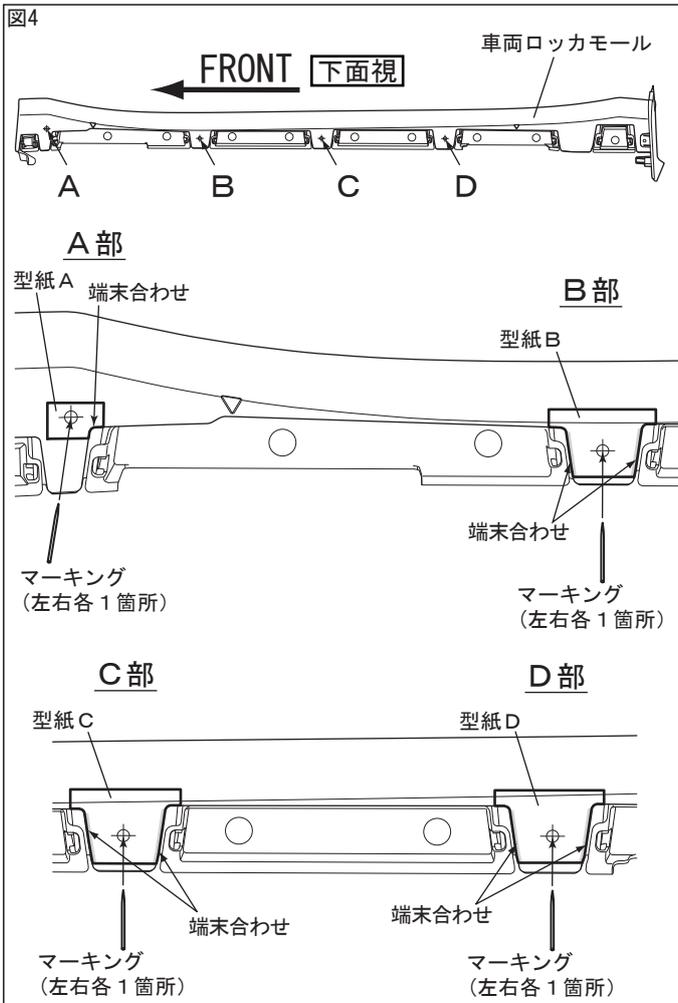
△注意：PACプライマーK-500は、サイドスカート取付の際も使用するため、乾燥しないように保管してください。



2. 図3のようにサイドスカート②に、モール⑧の両面テープの離型紙を剥がしながら、貼付け {49N (5kgf) 以上} 圧着します。モール⑧は長めに設定されているので、長さを合わせてハサミ等で切り落とす。

△注意：モール⑧は、二色同梱されています。塗装色に合わせて、モール色を選択し貼付けてください。

△注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めて下さい。



□取付準備

※本取付・取扱要領書は、主にLHを示しており、RHも同様に行ってください。

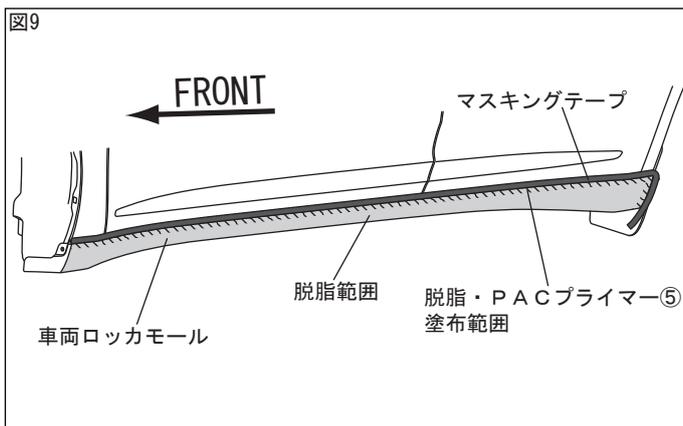
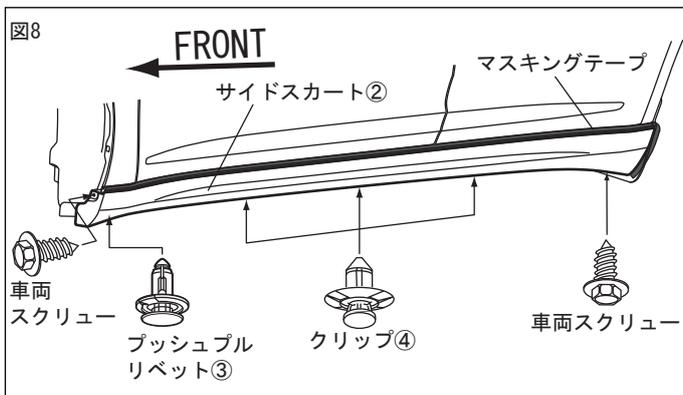
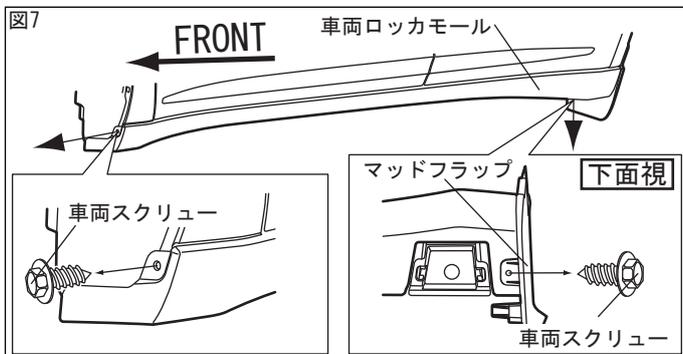
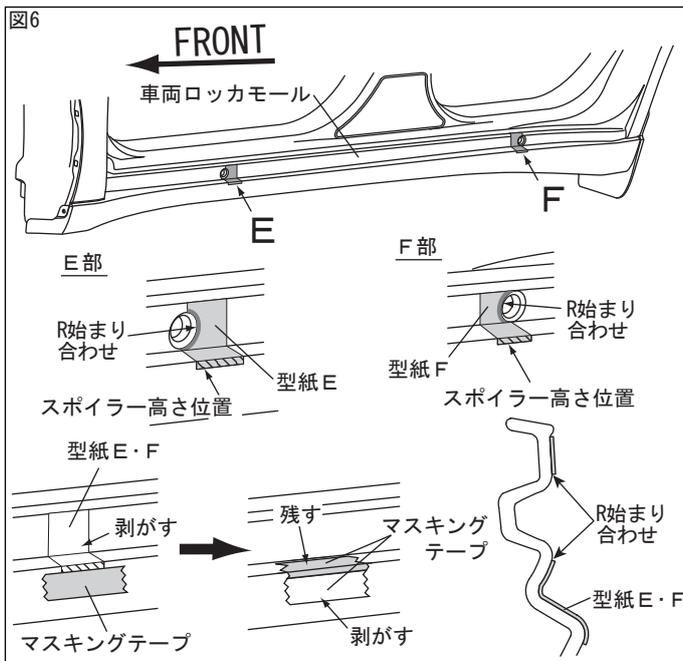
1. 型紙⑥から型紙A、型紙B、型紙C、型紙Dを切り抜く。
2. 図4のように型紙A、型紙B、型紙C、型紙Dの斜線部をそれぞれ下面形状に合わせてマスキングテープで貼り付ける。
3. 型紙A、型紙B、型紙C、型紙Dの穴位置をマーキングする。

4. 図5のようにφ3、φ6、φ8、φ10のドリル先端にストッパーになるようガムテープを巻き付け、全てのマーキング位置にドリルφ3からφ6を順番に使用して下穴を開ける。
(左右各4箇所)
5. 図5のように車両ロッカモール下面の車両前側の下穴にφ10mmのドリルで本穴をあけ(左右各1箇所)、残りの車両ロッカモール下面の下穴にφ8mmのドリルで本穴をあける。
(左右各3箇所)
6. ドリルで開けた穴のバリを取り除く。
(左右各4箇所)

🔧 **アドバイス**：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

⚠️ **注意**：作業時は保護メガネを着用してください。

⚠️ **注意**：バリを取り除く時には、穴径が大きくなるように注意してヤスリ等で取り除いてください。



7. 型紙⑥から型紙E、型紙Fを切り抜く。
8. 車両ドアを開け、図6のように型紙Eと型紙Fををそれぞれ車両ロックモールドの丸穴形状に合わせて貼り付ける。
9. 図6左下図のように型紙EとFの高さ位置に合わせてマスキングテープを貼り、型紙E・Fを剥がす。
10. 最初に貼ったマスキングテープの上縁に合わせ、別のマスキングテープを貼り、最初に貼ったマスキングテープを剥がす。
11. 車両ドアを閉める。
12. 図7のように前側ホイールハウスの車両スクリュー（左右各1箇所）と、後側マッドフラップの下面の車両スクリュー（左右各1箇所）を取外す。

⚠ 注意：取外した車両スクリューは再使用しますので無くさない様に必ず保管してください。

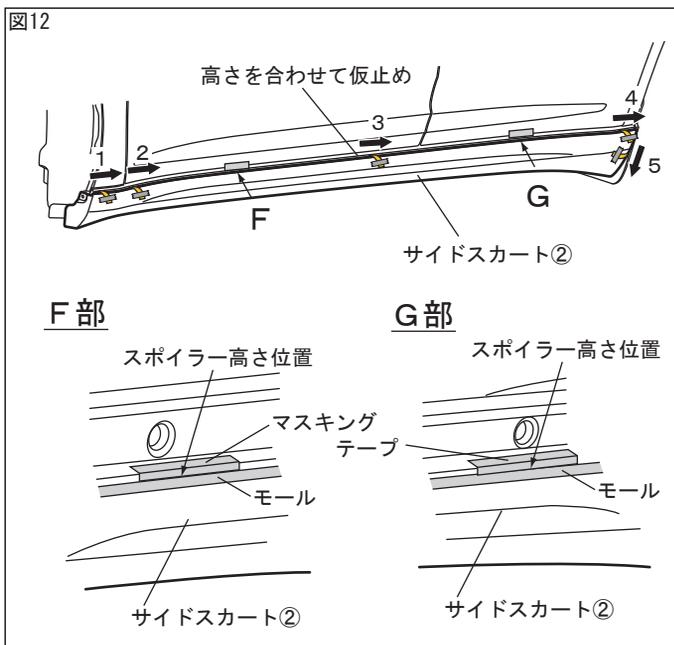
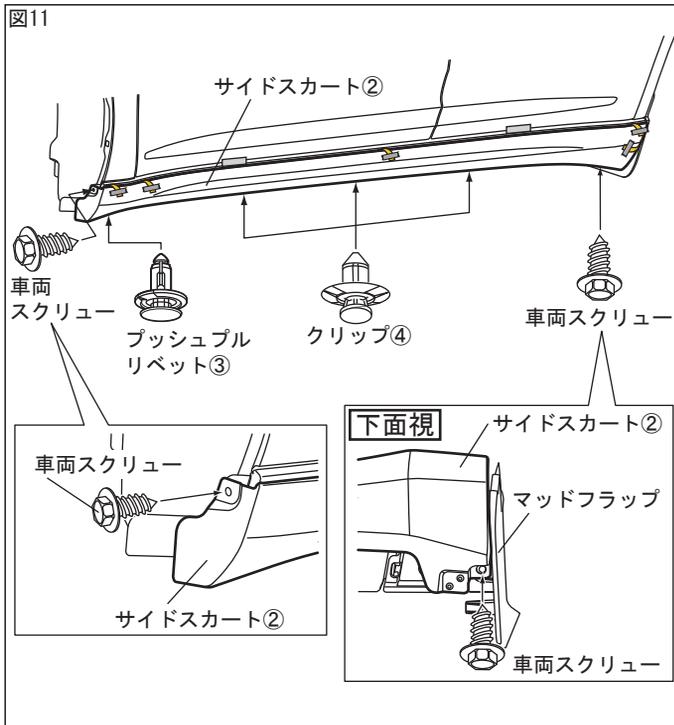
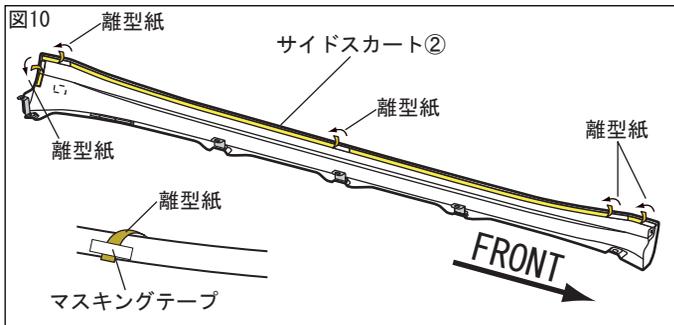
13. サイドスカート②を車両ロックモールドにかぶせ、車両スクリューとプッシュブリベット③（左右各1箇所）とクリップ④（左右各3箇所）で固定し、ガムテープ等で高さ位置に仮固定する。
14. 図8のようにサイドスカート②の外周をマスキングテープでマスキングし、サイドスカート②を取外す。
15. 図9のように車両ロックモールドのサイドスカート②取付部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向にふいて脱脂する。その後マスキングテープの内側をPACプライマーK-500⑤を塗布する。

⚠ 警告：ボディコーティングが施されている場合は、塗装にキズをつけないよう、コンパウンド等で除去した上で、必ず脱脂を行なってください。

⚠ 注意：脱脂を行う際はIPA又はホワイトガソリンを使用し、パーツクリーナーは使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

⚠ 注意：プライマーがボディに付着した場合は、直ちにホワイトガソリンやIPA等で拭き取って下さい。付着してしまいますと、ボディが黄色く変色する事がありますので注意してください。

👉 アドバイス：脱脂、プライマー塗布後は、10分以上乾燥させてください。



16. 図10のようにサイドスカート②の両面テープの離型紙を、前側から後方に向かって約30mm剥がし、マスキングテープで表側に貼付ける。(左右各5箇所)

⚠注意：両面テープの離型紙をすべて剥がしてしまふと、正しい取付位置に取付けが出来なくなります。

□取付要領

※本取付・取扱要領書は、主にLHを示しており、RHも同様に行ってください。

1. サイドスカート②の外周のマスキングテープを高さ位置出し用を除き剥がす。
2. 図11のようにサイドスカート②を車両ロッカモールにかぶせ、前側ホイールハウスの穴(左右各1箇所)と後側マッドフラップ下面の穴(左右各1箇所)を車両スクリューで仮締めする。
3. 図11のようにサイドスカート②下面の前側の穴をプッシュプルリベット③で固定する。(左右各1箇所)
4. 図11のようにサイドスカート②下面の中央の穴をクリップ④で固定する。(左右各3箇所)

⚠注意：サイドスカート②の取付け作業時は車両ロッカモールにキズをつけないように注意して行ってください。

5. 図12のようにサイドスカート②と車両ロッカモールにスキが無い確認し、マスキングテープにて高さ位置を決めて、真ん中を仮止めする。両面テープの離型紙(5箇所)を左図番号順に剥がしながら貼付け[49N(5kgf)以上]圧着する。

⚠注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めて下さい。

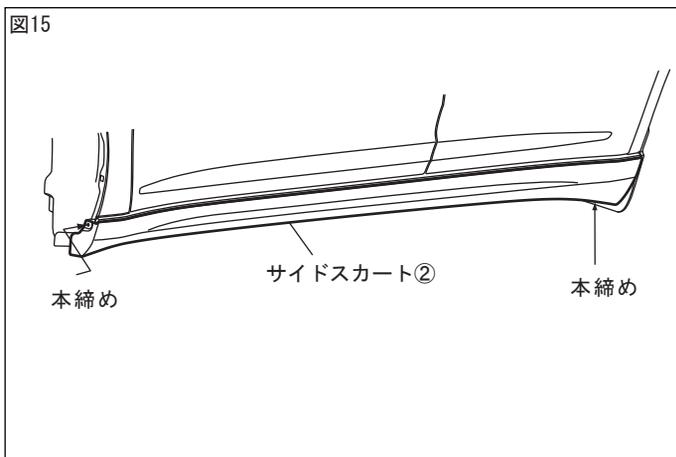
⚠注意：両面テープの離型紙を剥がす際、離型紙を切らない様にしてください。

⚠注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

⚠警告：両面テープは十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥れの原因となる事があります。

⚠注意：両面テープ接着後24時間以内は洗車しないでください。

図15



5. 図15のように仮締めしておいた車両スクリュー(左右各2箇所)を本締めする。

■取付完了後の点検・注意事項

1. サイドスカートがスクリューにて、車両に確実に取付けられているか点検してください。
2. サイドスカート及び車両部品に傷を付けていないか点検してください。
3. 製品全周に渡り、浮き、剥がれの無い事を確認する。